



水土里サークル活動とは

農村における過疎化・高齢化・混住化等が進むなか、農地、農業用水等の地域資源を守る共同活動の脆弱化が進んでいます。

このため、平成19年度から国の施策として農地、農業用水等の資源を地域ぐるみで支えていく農地・水・環境保全向上対策が導入されました。

鹿児島県では、農地・水・環境保全向上対策の愛称を【水土里サークル活動】としました。

サークルという言葉は、

①円、輪、環↓人と人、地域のつながり

②仲間、団体↓活動組織

③循環↓活動の継続、環境を守る

等の意味があり、これに「水土里」をつけることにより、地域共同で、農地、水等の資源を守る活動を表しています。

曾於市では現在16の組織（末吉7組織、大隅5組織、財部4組織）で水土里サークル活動に取り組んでおります。

これまでの曾於市の組織活動状況を紹介します。



用水施設の土砂排除



学校教育と連携（農作業体験）



道路沿いに花の植付（景観形成）



遊休農地の病虫害防止のための保全管理



農道の補修



トラフの付設替え



施設の機能に支障が生じていないかの点検

今後、更に水土里サークル活動を充実・拡大し、地域の将来を見すえた体制整備構想を策定し、地域発展のため活動されます。



水土里サークル活動 早馬振興会 みんな集まれ・ ふるさと発見・ 歩こう会

平成19年度から地域住民と一体となり、「水土里サークル活動」に早馬振興会は取り組んでおります。

早馬振興会は曾於市末吉町南之郷の一級河川大淀川沿いに拓けた水田地帯と背後にある畑地帯を主団地としている地域にあります。

今回、8月2日(日)開催された早馬振興会のワークショップは、協定締結年次から起算して3年目までに、体制整備構想「案」を作成する活動の一環となります。

当日は早馬振興会会員、末吉東部・北部地域連絡会、水土里ポランティア会員、行政機関、総勢143人参加の5班編成で早馬振興会活動地域内を探検しました。

普段は何気なく車で通過する所を、幅広い年齢層で散策することにより、ふるさとの歴史・史跡・自然等再発見することができました。今後、次世代に残すため、住みよい地域づくりにみんなで取り組んでいきたいと、多くの参加者の声が聞かれました。

当日、参加者にアンケートをお願いしました。たくさんのご意見、感想の中からその一部を紹介いたします。

☆ワークショップに参加して

*田の神様が3体もあつてすごいと思いました。それに上から見た田んぼの景色、すごく美しかったです。

*これだけの年齢層が集まり、日々見過ごしている所を歩いて意見交換できてとても良かったです。

*地元で生活しているが、改めて歩いてみると危険な箇所や子供がいるところ、悪くなっているところがあると実感しました。これから地域活動を通じて改善活動に参加したいと思った。

*何かあったらすぐ市役所にお願ひするのではなく、みんなで確認し、話し合い、対応するようにしてほしい。

*自分のふるさとをゆっくり見つ



め直すことができ、改めて良い所がたくさんあるなーと思いました。

*木造り地蔵さんが近くにあるのに、あまり行ったこともなく、今まで過ごしてきましたが、今日はよく見て来れて良かったと思いました。

*一番心に残ったことは田の神様です。あそこの景色は良いし、風もくるので私のお気に入りです。いつまでも変わらないでしょう。